

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

|                 |                                                                                  |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故                                                                               |
| 2. 体験した事例の名称    | 火災現場活動中における熱中症事案について                                                             |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 長期に亘る現場活動での多量の発汗による脱水。<br>現場活動中に脚が攣るような症状が表れたので上司に報告し休憩をとる。休憩中、両手及び背部に同様の症状が表れる。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 自身の活動限界の見極めができなかったため、上司への報告が遅れた。<br>休憩時に摂取していた飲料が電解質を含まないものであったため、熱中症に至った。       |

### 【体験した事例の直接的な原因について】

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

### 【体験した事例について】

|                                  |                           |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成23年9月28日 午後2時頃          |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴れ                        |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋内：火災建物内にて活動中             |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。           |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)  | 軽傷の怪我                     |
| 6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)     | その他：熱中症                   |
| 7. 事例体験時の活動                      | 火災現場活動終了時、[ 防火造建物 ]       |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか         | その他：ホース延長、放水活動、破壊活動、進入・退出 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した                   |



c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | はい  |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | はい  |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった(寒かった)。     | はい  |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

個で活動せず隊で活動し、お互いに注意を喚起し合うよう心がける。

○装備・資機材の対策について

電解質を含む飲料等を携行し、活動中、必要に応じて摂取する。  
冷却ベスト等の個人装備を活用し、熱中症の起こる要因を極力、排除する。

○活動環境の対策について

体調の優れないときは上司への報告を徹底する。また、活動中、体調に異変を感じたときはいち早く報告する。

○指揮・情報伝達の対策について

個別に携行している無線を有効に活用して連絡を密にし、情報を共有する。

- ・ 現場写真（外観から撮影）



- ・ 建物内を撮影（手前右側が当事者）



- ・ 冷却ベスト ←※事故発生時には、これらの備えをしていなかった。→



- ・ 電解質を含む、携行可能な食品

